

# 大規模知識処理特論

## 第 12 回

---

脊戸 和寿

# 本日のお話

---

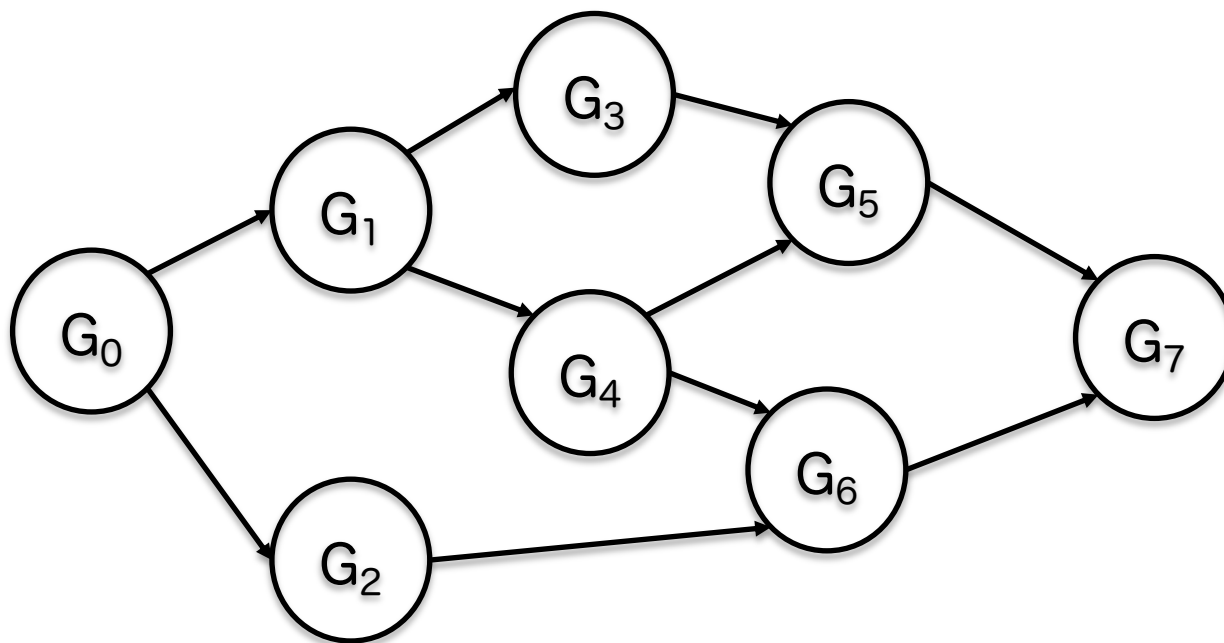
グラフ計算論法と計算量理論に関する研究について知る

- Graph Calculus
- Hajós CalculusとHajós number
- Hajós numberとNP vs. coNP
- Hajós numberとProof Complexity

# Graph Calculus

初期グラフ  $G_0$  とグラフ生成規則の集合  $R$  が与えられる.

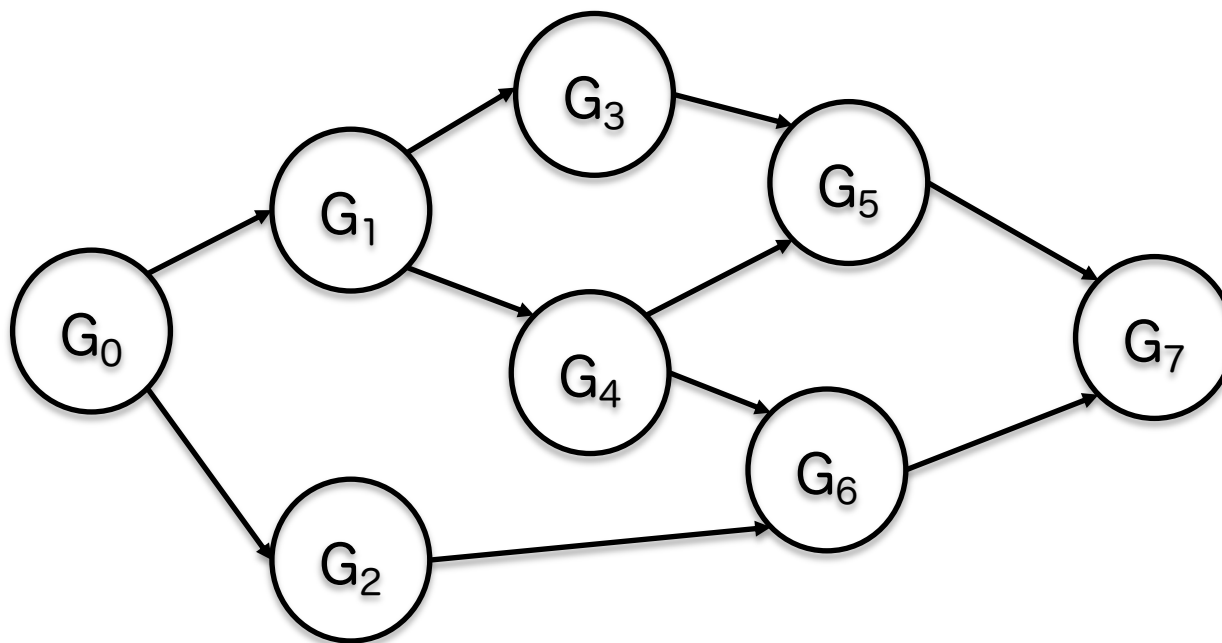
$G_0$  からスタートして生成規則を適用し, グラフを次々に生成していく.



# Graph Calculus

生成される全てのグラフは**特定の性質を満たしている**

- ・ 三角形を持たない.
- ・ ハミルトン閉路を持つ.
- ・ 3彩色不能である.



# Graph Calculus

Completeness と Soundness が重要

今, Graph Calculus  $A$ により性質  $B$  をもつグラフを生成することを考える.

## Completeness

性質  $B$  をもつ**全てのグラフ**は  $A$  により生成可能である.

## Soundness

$A$  により生成されるグラフは性質  $B$  をもつ.

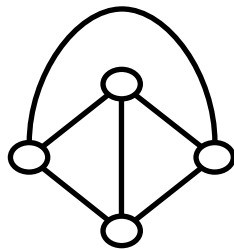
# Hajós Calculus (Hajós 1961)

k彩色不能なグラフを生成するGraph Calculus

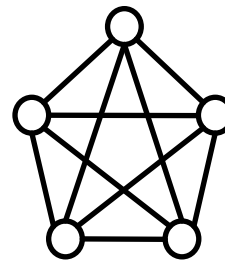
- ・ 1つの初期グラフと3つの生成規則

初期グラフ

完全グラフ  $K_{k+1}$  (k彩色不能な最小頂点のグラフ)



$K_4$   
3彩色不能

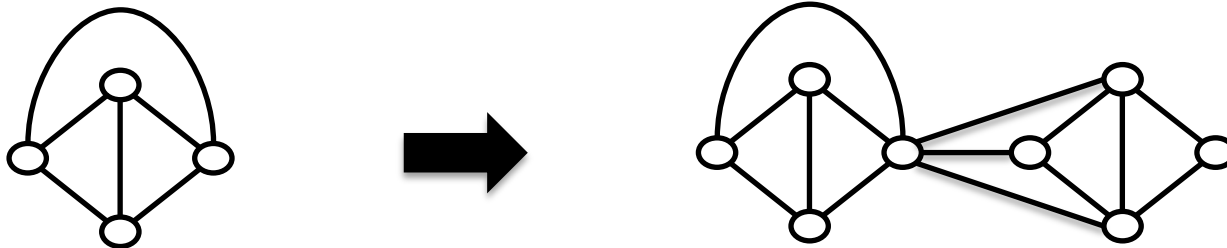


$K_5$   
4彩色不能

# Hajós Calculus (Hajós 1961)

生成規則 Vertex / Edge Introduction

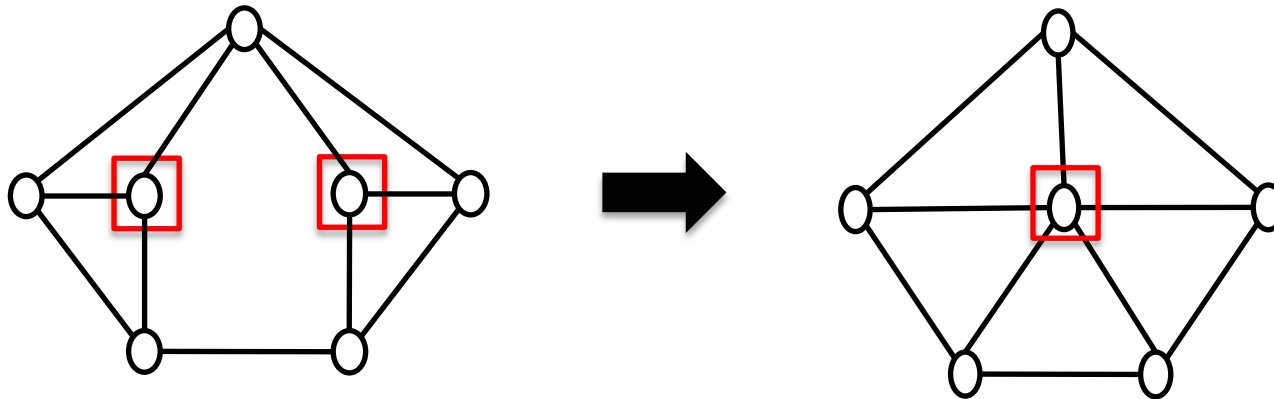
任意の頂点と枝を追加することができる。



# Hajós Calculus (Hajós 1961)

## 生成規則 Contraction

隣接していない頂点を縮約できる。

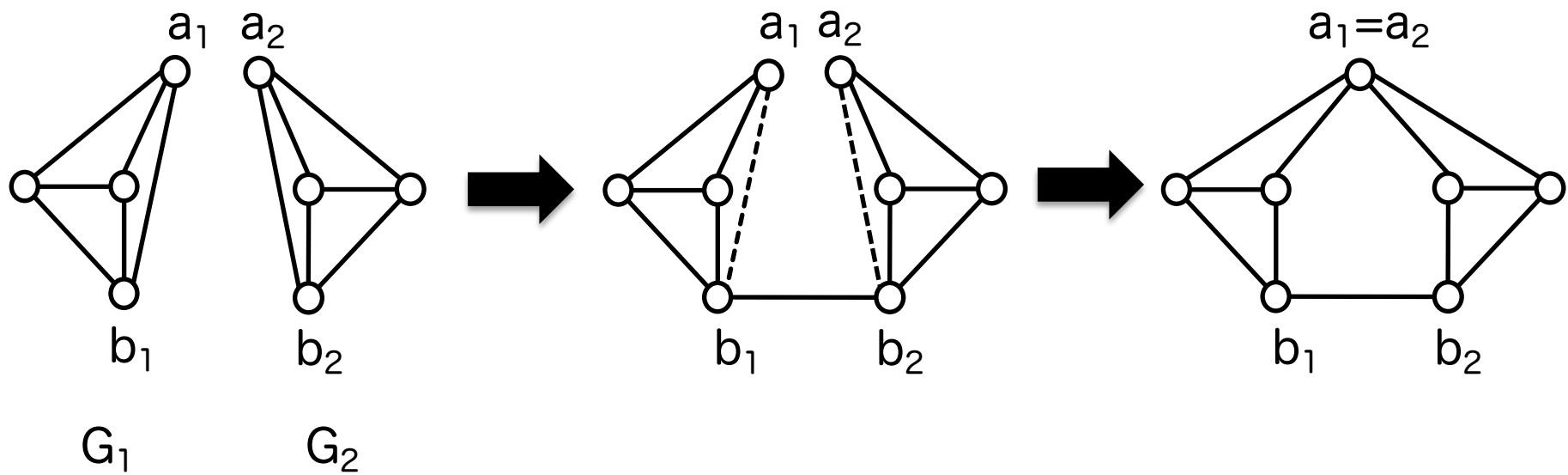




# Hajós Calculus (Hajós 1961)

## 生成規則 Join

任意の2つのグラフを**特定の操作**で結合する.



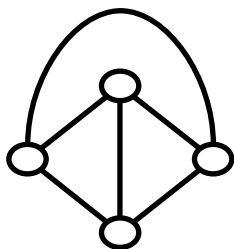
# Hajós CalculusのSoundness

## Soundness

Hajós Calculus により生成されるグラフは  $k$  彩色不能である。

簡単のため  $k = 3$  を考える。

初期グラフ： $K_4$



各生成規則が 3 彩色不能性を保てるかを示せばよい。

- Vertex/Edge Introductionは自明.

# Hajós CalculusのSoundness

## 生成規則 Join

$G_1$  と  $G_2$  を結合して  $G_3$  を生成することを考える.

## 示すこと

$G_1$  が 3 彩色不能 かつ  $G_2$  が 3 彩色不能  $\Rightarrow G_3$  は 3 彩色不能

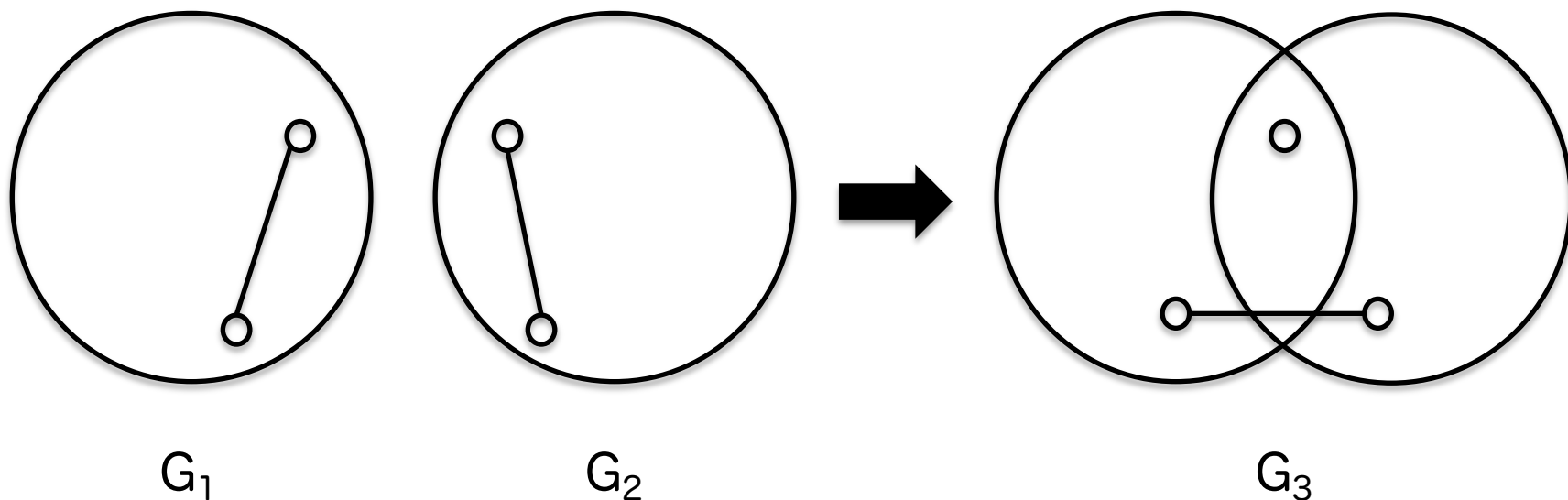
## 対偶

$G_3$  が 3 彩色可能  $\Rightarrow G_1$  が 3 彩色可能 または  $G_2$  が 3 彩色可能

# Hajós CalculusのSoundness

対偶

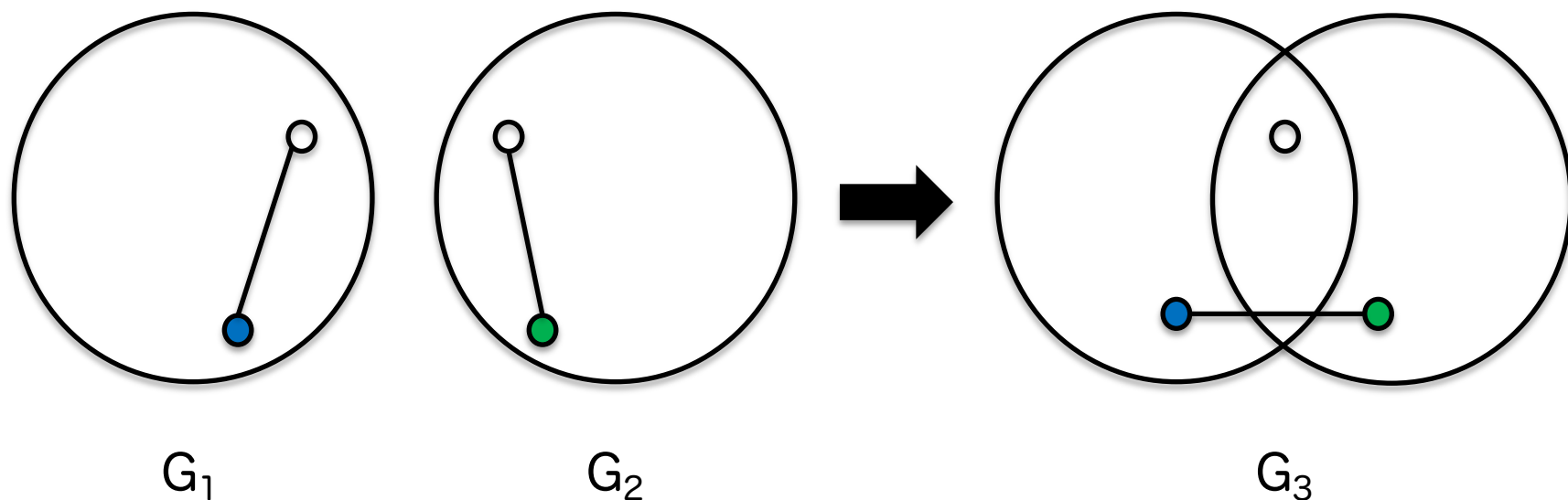
$G_3$  が 3 彩色可能  $\Rightarrow G_1$  が 3 彩色可能 または  $G_2$  が 3 彩色可能



# Hajós CalculusのSoundness

対偶

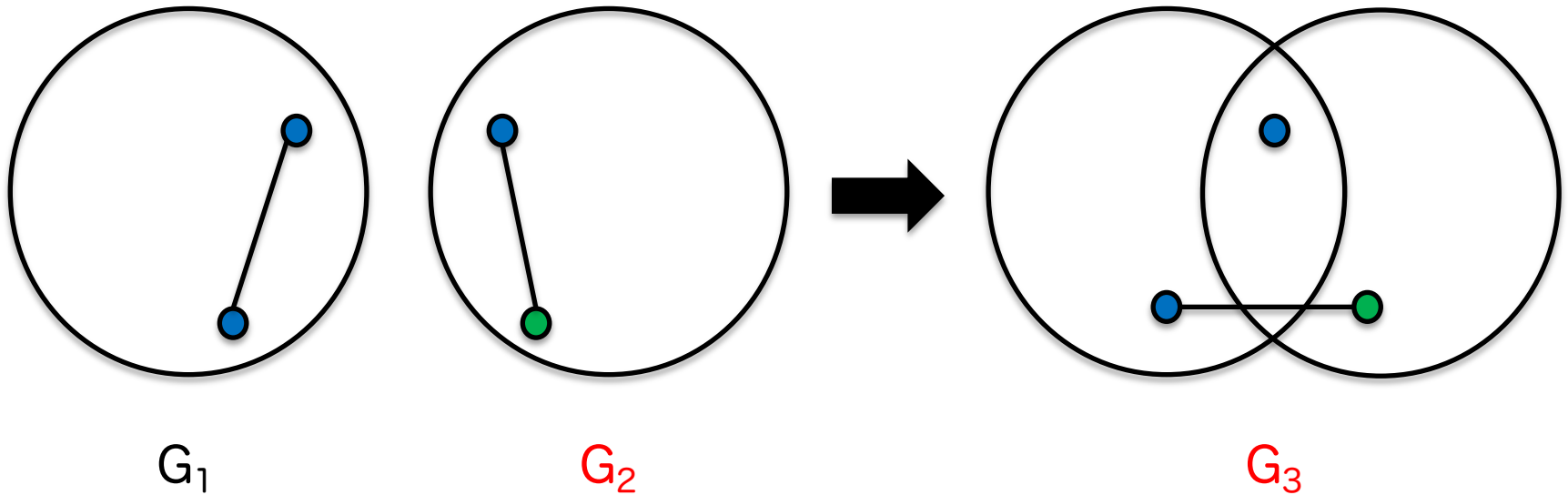
$G_3$  が 3 彩色可能  $\Rightarrow G_1$  が 3 彩色可能 または  $G_2$  が 3 彩色可能



# Hajós CalculusのSoundness

対偶

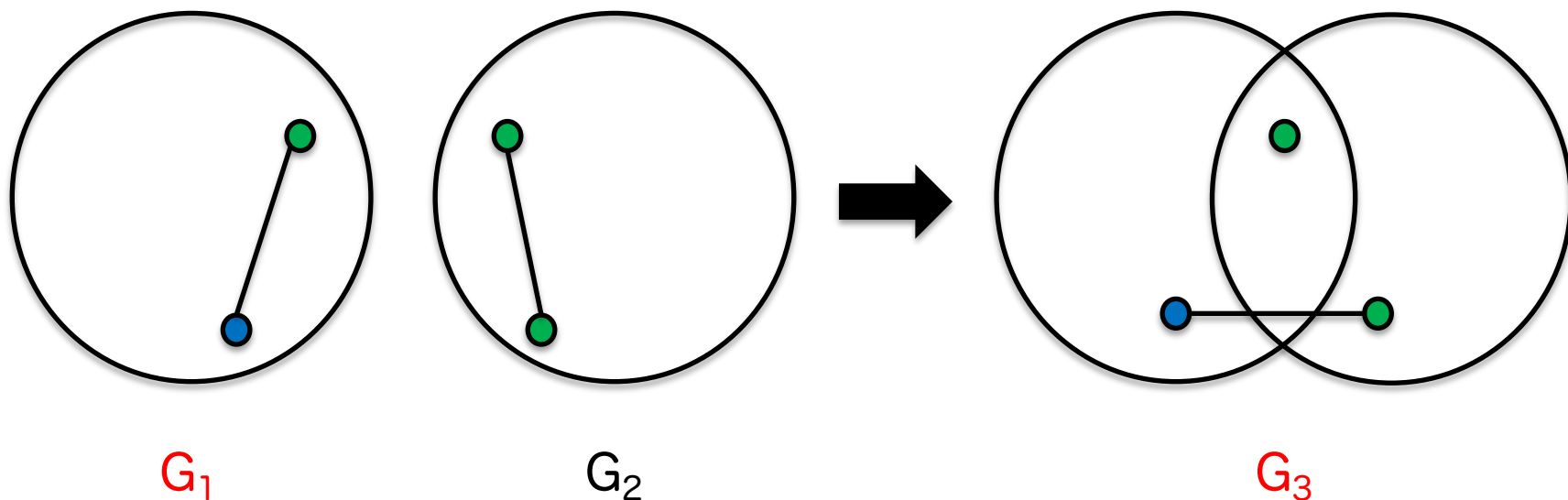
$G_3$  が 3 彩色可能  $\Rightarrow G_1$  が 3 彩色可能 または  $G_2$  が 3 彩色可能



# Hajós CalculusのSoundness

対偶

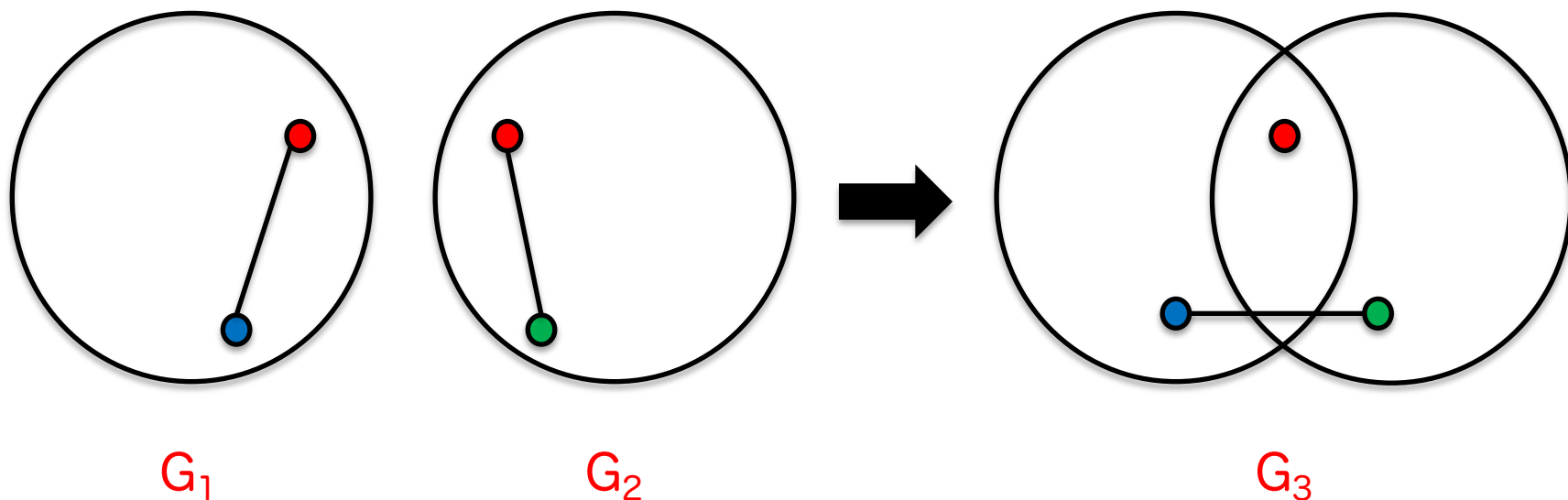
$G_3$  が 3 彩色可能  $\Rightarrow G_1$  が 3 彩色可能 または  $G_2$  が 3 彩色可能



# Hajós CalculusのSoundness

対偶

$G_3$  が 3 彩色可能  $\Rightarrow G_1$  が 3 彩色可能 または  $G_2$  が 3 彩色可能





# Hajós CalculusのSoundness

## 生成規則 Contraction

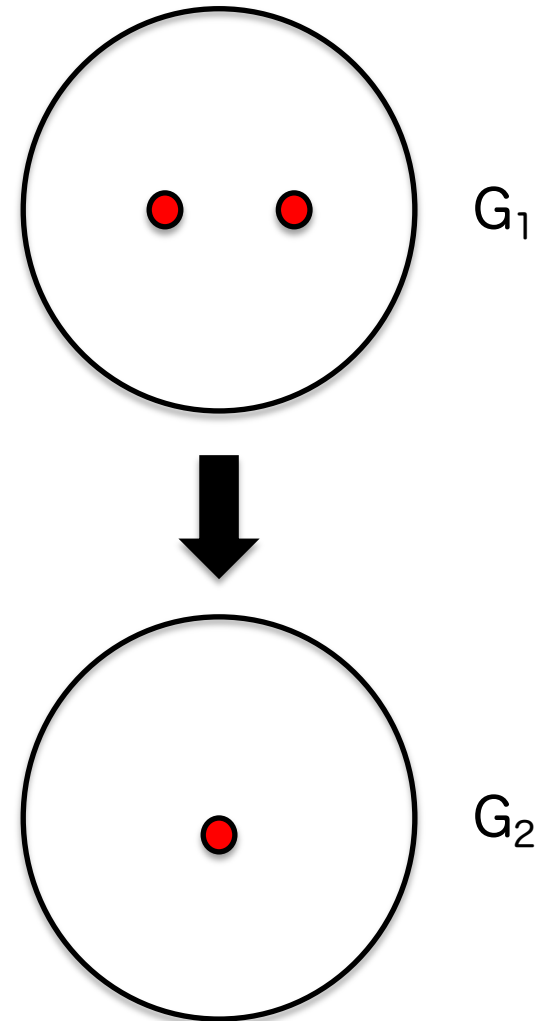
Joinと同じで対偶を考えればよい.

## 示すこと

$G_1$  が 3 彩色不能  $\Rightarrow G_2$  は 3 彩色不能

## 対偶

$G_2$  が 3 彩色可能  $\Rightarrow G_1$  が 3 彩色可能



# Hajós CalculusのCompleteness

## Completeness

Hajós Calculusにより全ての  $k$  彩色不能なグラフが生成可能.

## Hajós (1961)

Hajós CalculusはCompleteである.

## Hajós Calculus

全ての  $k$  彩色不能なグラフを生成可能かつ  $k$  彩色不能なグラフのみを生成するGraph Calculusである.

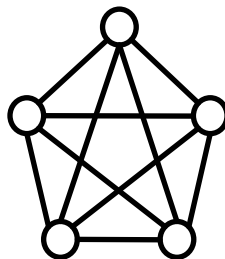
# Hajós Calculusと四色定理

四色定理 (Appel and Haken 1976)

全ての平面グラフは4彩色可能である.

4彩色不能なグラフには平面グラフはない.

⇒  $K_5$  からスタートする Hajós Calculus を用いたときに,  
平面グラフが生成されないことを示すことができれば**四色定理の別証明**となる.



$K_5$   
4彩色不能

# Hajós Calculusの計算量

Hajós Number  $h(G)$  (Mansfield and Welsh 1982)

$K_{k+1}$  からスタートして,  $k$  彩色不能なグラフ  $G$  をHajós Calculusにより生成するために必要な生成規則の適用回数.

Mansfield and Welsh 1982

$n$  頂点,  $m (\leq n^2/3)$  辺のグラフ  $G$  の  $h(G)$  は,

$$h(G) \leq 2^{\frac{n^2}{3} - m + 1} - 1$$

を満たす.

# 判定問題

Yes か No で答えることができる問題

## k彩色問題

入力：グラフ  $G$  と彩色数  $k$

問い： $G$  は  $k$  彩色可能か？

## ハミルトン閉路問題

入力：グラフ  $G$

問い： $G$  はハミルトン閉路を持つか？

# クラス P と NP

## クラス P

決定性 Turing 機械で問題の入力サイズの多項式ステップで Yes / No を判定できる問題のクラス.

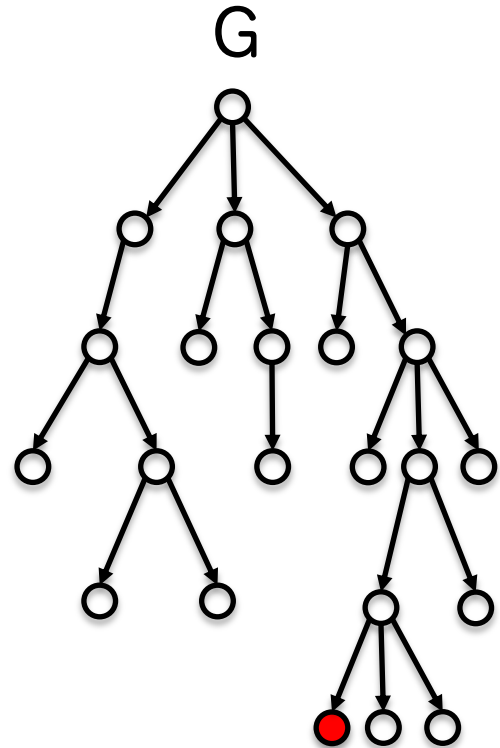
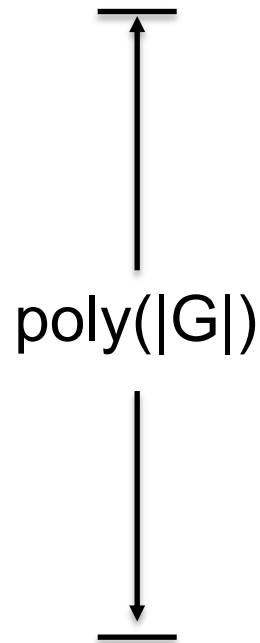
## クラス NP

非決定性 Turing 機械で問題の入力サイズの多項式ステップで Yes / No を判定できる問題のクラス.

# クラス P と NP



クラス P



クラス NP

# クラス NP の別定義

## クラス NP

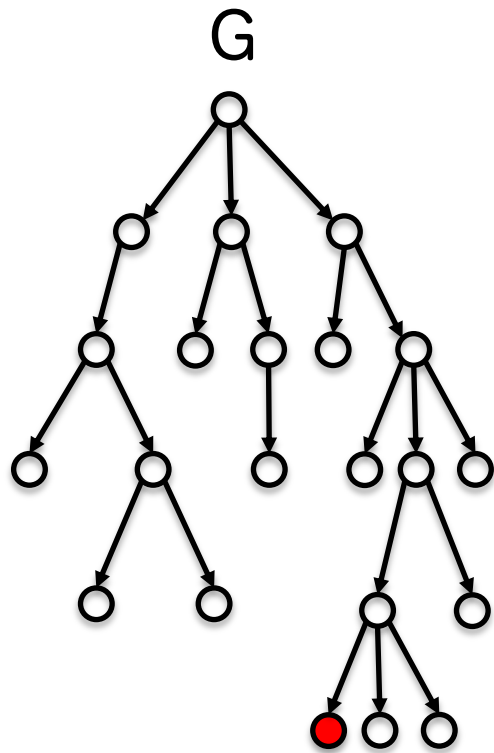
問題のインスタンスと Yes となる証拠（例えば解）が与えられたとき，決定性 Turing 機械により入力サイズの多項式ステップで Yes であることを判定できる問題のクラス。  
ただし，証拠のサイズはインスタンスサイズの多項式である。

## 例：3彩色問題

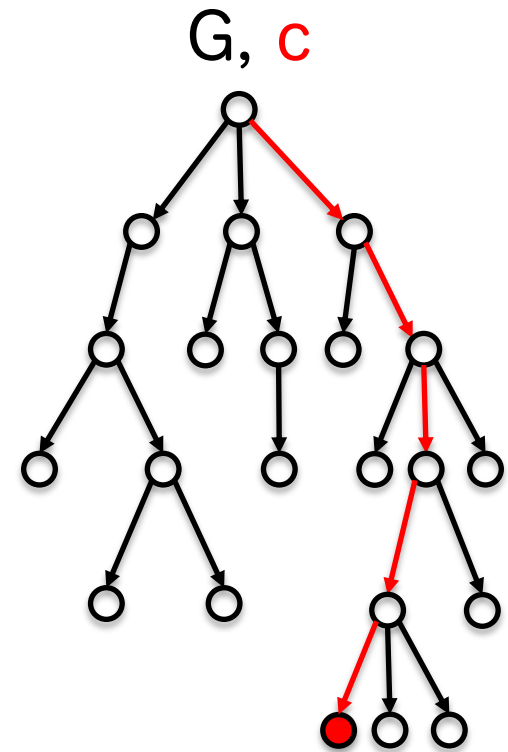
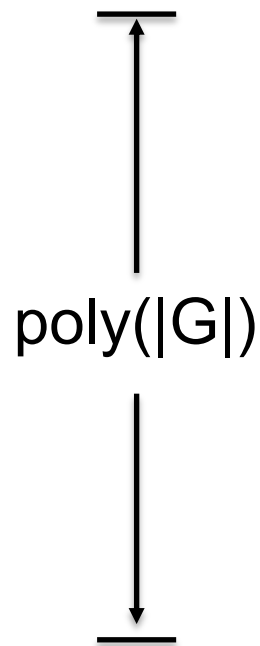
3彩色可能な  $G$  と彩色方法  $c$  が与えられると決定性 Turing 機械により多項式ステップで Yes と判定できる。



# クラス NP



クラス NP

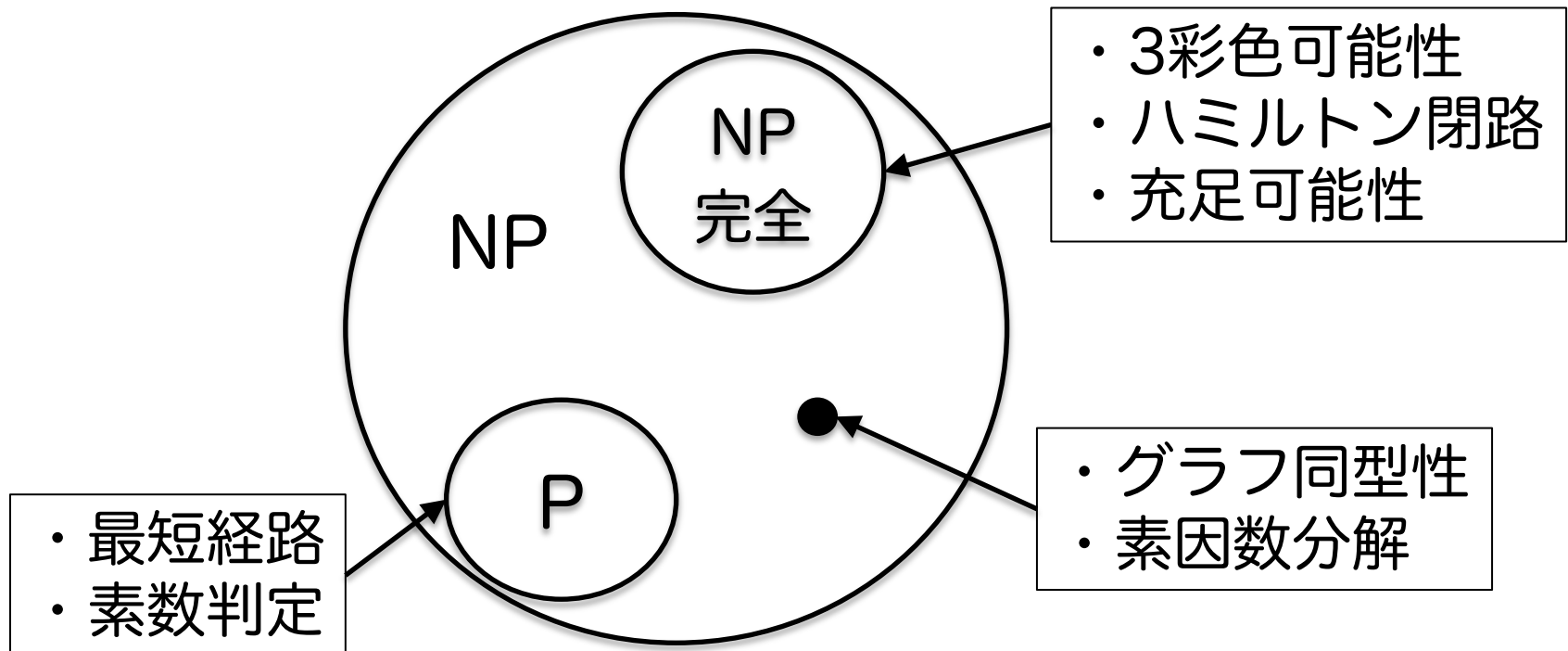


クラス NP

# P vs. NP

クラス P とクラス NP は等しいのか？

クレイ数学研究所から100万ドルの賞金.



# coNP

---

NP の補問題

3 彩色不能性

入力：グラフ  $G$

問い： $G$  は 3 彩色不能か？

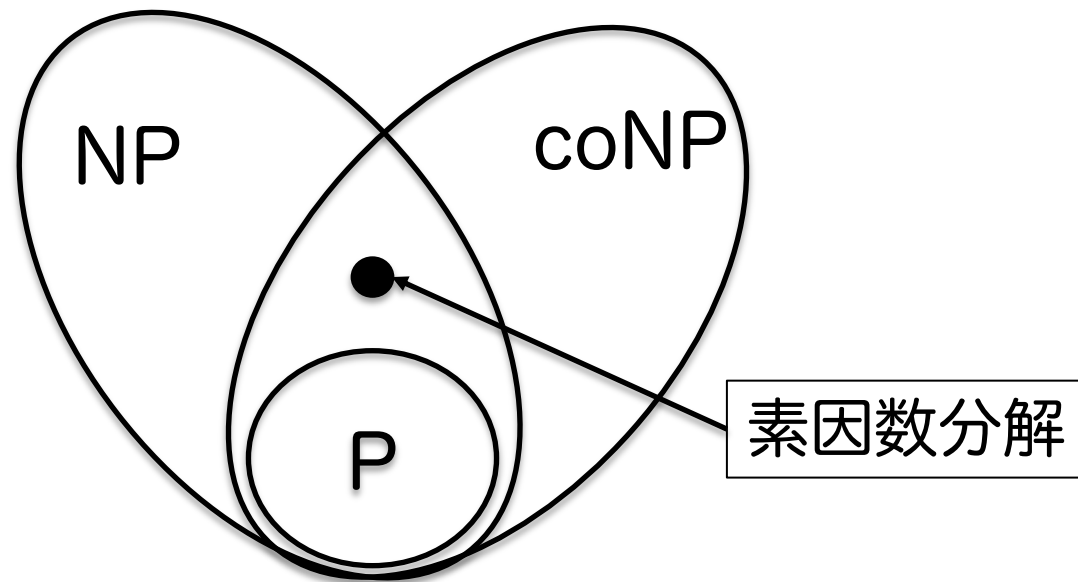
クラス NP

Yes である証拠のサイズが入力サイズの多項式

# P vs. NP vs. coNP

$P = NP \Rightarrow NP = \text{coNP}$

No である証拠のサイズが入力サイズの多項式  $\Rightarrow NP = \text{coNP}$



# Hajós Number と NP vs. coNP

Hajós Number  $h(G)$  (Mansfield and Welsh 1982)

$K_{k+1}$  からスタートして,  $k$  彩色不能なグラフ  $G$  を Hajós Calculus により生成するために必要な生成規則の適用回数.

Fact

任意の 3 彩色不能な  $n$  頂点,  $m$  枝のグラフ  $G$  に対して,

$$h(G) = \text{poly}(\max(n, m))$$

であれば,  $NP = \text{coNP}$ .

# Satisfiability Problem

## Satisfiability Problem (SAT)

入力：論理式  $f$

出力： $f$  が充足可能（ $f$  を 1 にする割当が存在する）か？

例

$$f = (x_1 \vee x_2)(\overline{x_1} \vee x_2)(x_1 \vee \overline{x_2})$$

$x_1 = 0, x_2 = 1$  とすれば充足可能.

# Unsatisfiability Problem

## Unsatisfiability Problem (UNSAT)

入力：論理式  $f$

出力： $f$  が充足不能か？

例

$$f = (x_1 \vee x_2)(\overline{x_1} \vee x_2)(x_1 \vee \overline{x_2})(\overline{x_1} \vee \overline{x_2})$$

どんな割当に対しても充足可能にはならない。

# Proof Complexity

与えられた問題と Yes と判定するために、必要な証拠のサイズを定量的に評価する研究.

## クラス NP

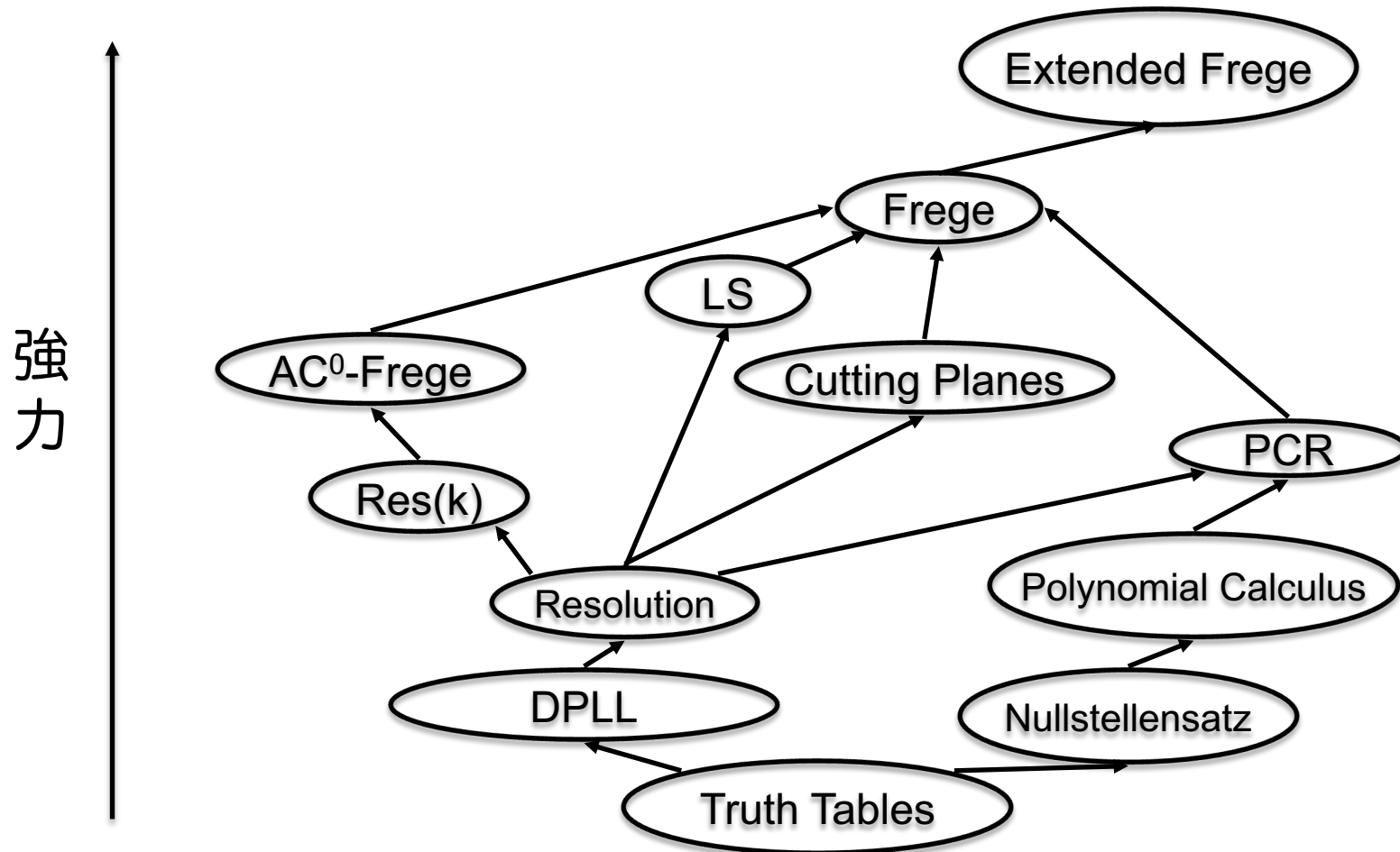
証拠のサイズ：問題のサイズの多項式

判定時間：問題のサイズと証拠のサイズの多項式



# Proof System

UNSAT を判定するための証拠を生成する計算機構



# Resolution

$$C \vee x, C' \vee \bar{x} \rightarrow C \vee C'$$

$$\begin{array}{l} C_1 = x_1 \vee x_2 \vee x_3 \\ C_2 = x_1 \vee x_2 \vee \bar{x}_3 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} C_3 = \bar{x}_1 \vee x_2 \vee x_3 \\ C_4 = \bar{x}_1 \vee x_2 \vee \bar{x}_3 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} C_5 = x_1 \vee \bar{x}_2 \vee x_3 \\ C_6 = \bar{x}_1 \vee \bar{x}_2 \vee x_3 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} C_7 = x_1 \vee \bar{x}_2 \vee \bar{x}_3 \\ C_8 = \bar{x}_1 \vee \bar{x}_2 \vee \bar{x}_3 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} C_9 = x_1 \vee x_2 \\ C_{11} = \bar{x}_1 \vee x_2 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} C_{10} = \bar{x}_2 \vee x_3 \\ C_{12} = \bar{x}_2 \vee \bar{x}_3 \end{array}$$

$$C_1 \wedge C_2 \wedge \dots \wedge C_8$$
$$\begin{array}{l} C_{13} = x_2 \\ C_{14} = \bar{x}_2 \end{array}$$
$$x_2 \wedge \bar{x}_2$$

**UNSAT !!**

# Proof ComplexityとcoNP

Cook and Reckhow (1979)

任意の UNSAT な  $n$  変数,  $m$  節の論理式  $f$  に対して, サイズが  $n$  と  $m$  の多項式となる証拠を生成する Proof System が存在する  $\Leftrightarrow$   $NP = coNP$ .

Fact

任意の Proof System に対して, 多項式サイズの証明を得ることができない UNSAT な論理式が存在するならば,  $NP \neq coNP$ . つまり,  $P \neq NP$ .

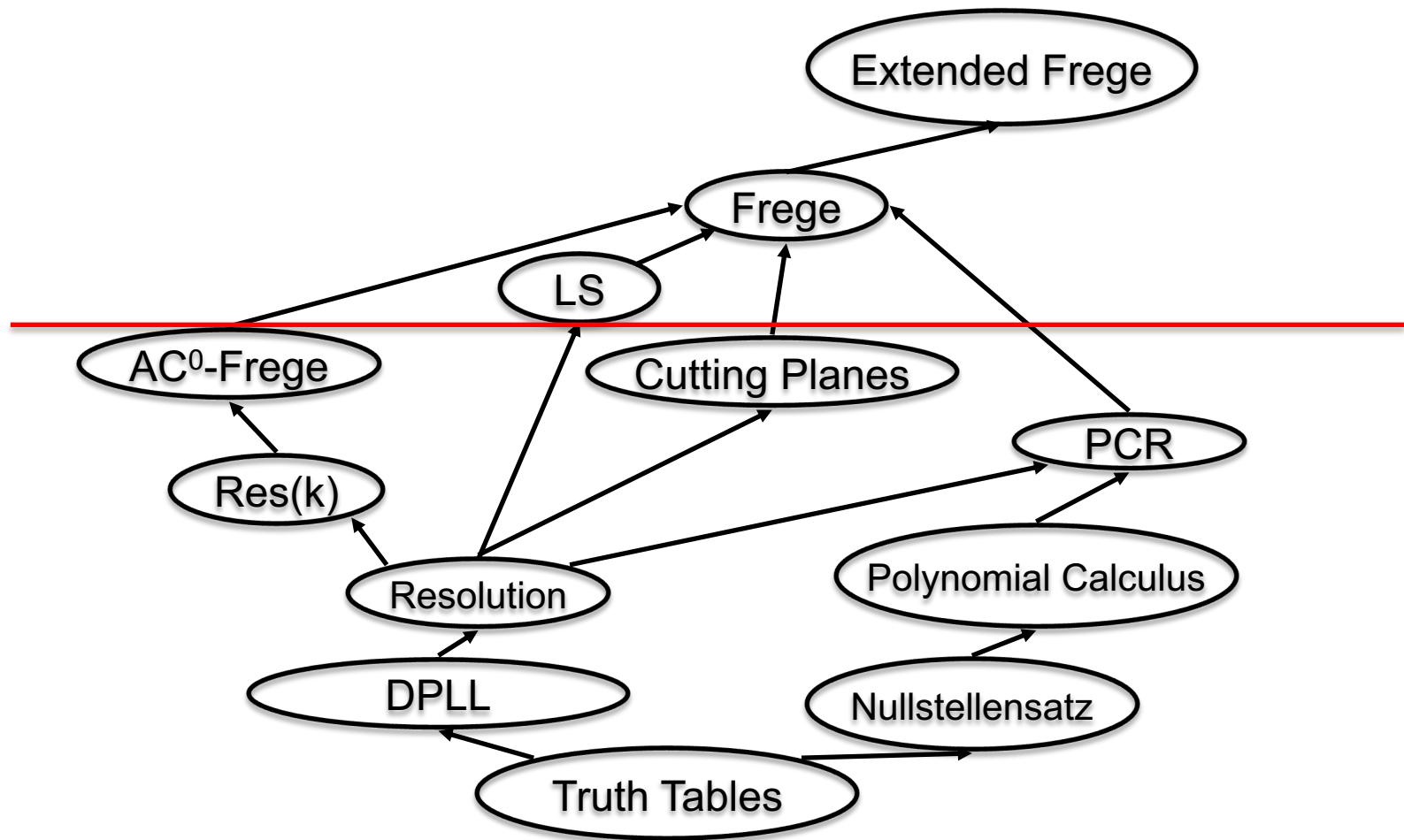
# NP vs. coNP 問題へのアプローチ

任意の Proof System に対して、多項式サイズの証明を得ることができない UNSAT な論理式を見つける。

## Step by Step

より強い Proof System に対して、多項式サイズの証明を得ることができない UNSAT な論理式を見つける。

# 現在の状況



# Non-3-Colorability と Hajós Calculus

Non-3-Colorability (Non3COL)

入力：グラフ  $G$

出力： $G$  が 3 彩色不能か？

Hajós Calculus は Non3COL の Proof System とみなすことができる。

# Proof System と Graph Calculi

## Proof System for UNSAT

任意の UNSAT な  $n$  変数,  $m$  節の論理式  $f$  に対して, サイズが  $n$  と  $m$  の多項式である証拠を生成する Proof System が存在する  $\Leftrightarrow$   $NP = coNP$ .

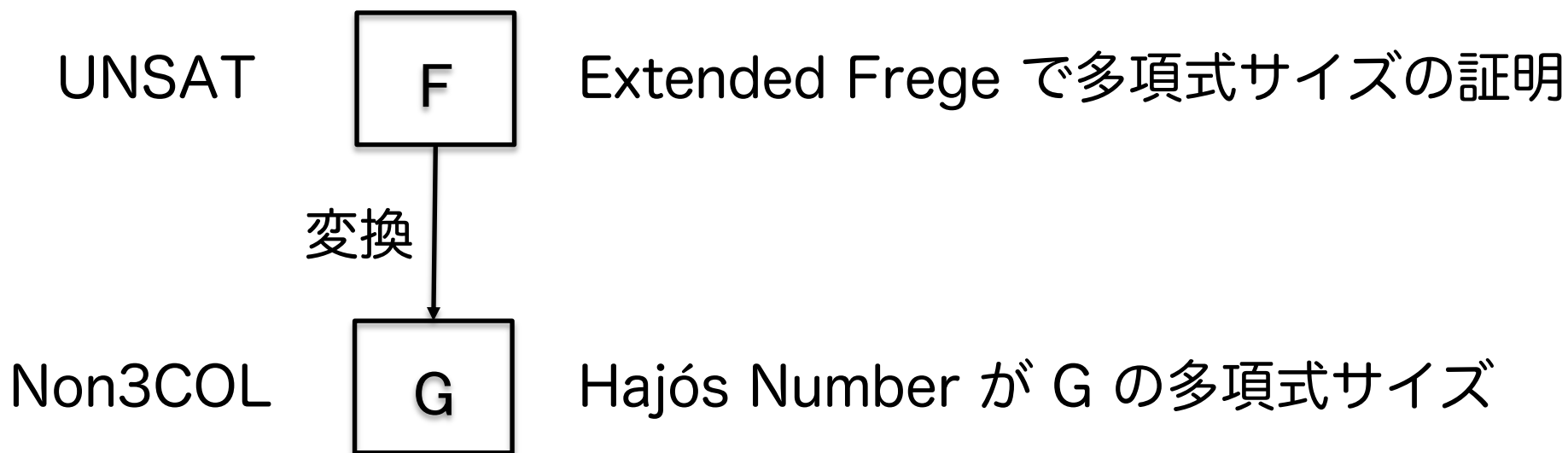
## Graph Calculi for Non3COL

任意の 3 彩色不能な  $n$  頂点,  $m$  辺のグラフ  $G$  に対して, Hajós Number が  $n$  と  $m$  の多項式であれば,  $NP=coNP$ .

# Proof System と Hajós Calculus

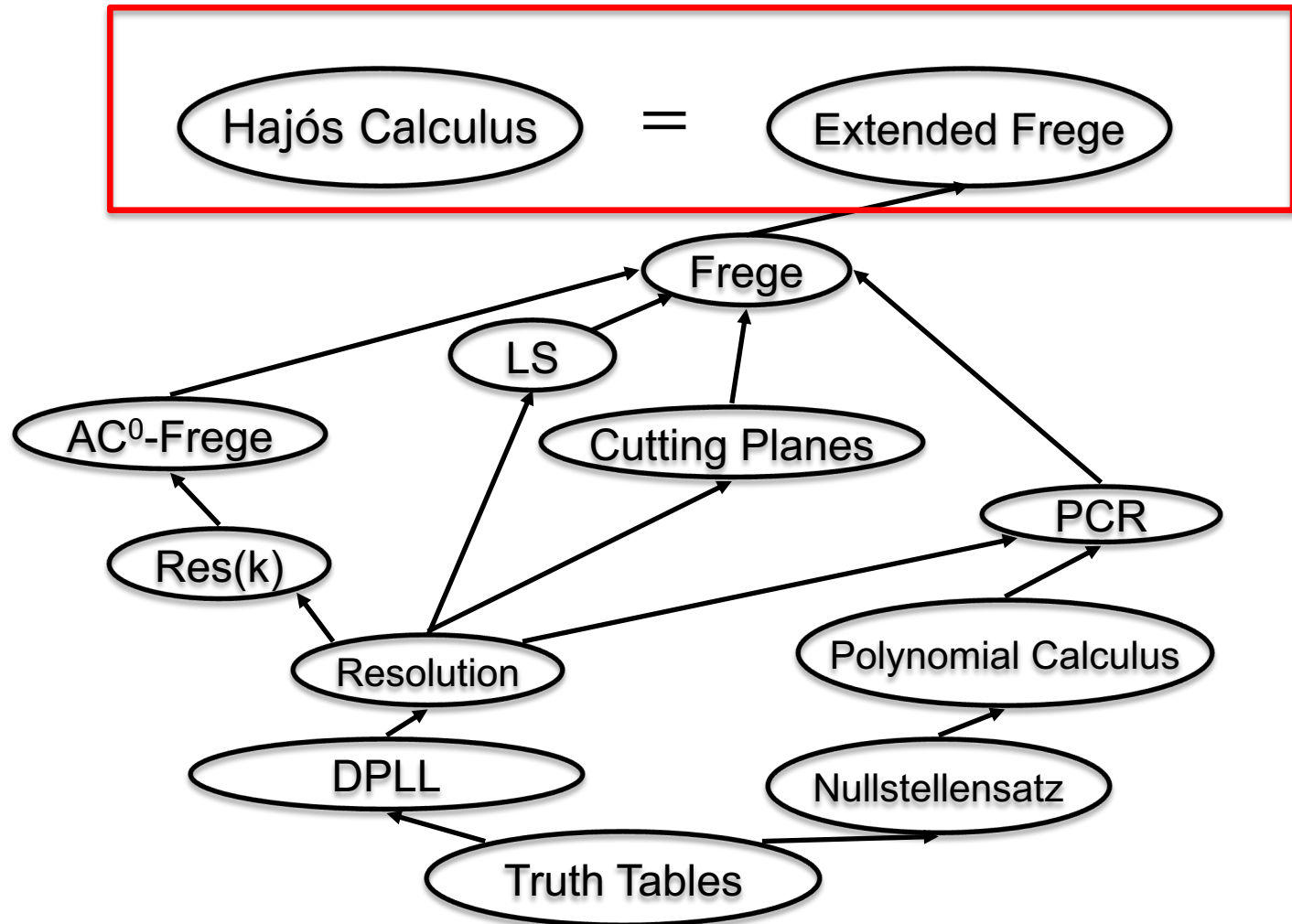
Pitassi and Urquhart 1995

Extended Frege System が多項式サイズの証拠で UNSAT を証明できる論理式  $F$  に対応する Non3COL のグラフ  $G$  の Hajós Number は  $G$  のサイズが多項式で抑えられる。





# Proof SystemとHajós Calculus



# NP vs. coNP 問題へのアプローチ

任意の Proof System に対して、多項式サイズの証明を得ることができない UNSAT な論理式を見つける。



より強い Proof System に対して、多項式サイズの証明を得ることができない UNSAT な論理式を見つける。



Hajós Number が超多項式のグラフを見つける。

# まとめ

---

グラフ計算論法と計算量理論研究の紹介

- $k$  彩色不能なグラフを生成する Hajós Calculus
- Proof System と coNP問題
- Hajós Calculus と NP vs. coNP 問題